

購買業務のプラットフォーム

購買知財力 共有化・見える化評価

The screenshot displays a website interface for '購買知財力 共有化・見える化 評価表' (Purchasing Knowledge and Evaluation Table). It features a search bar, a table with multiple columns (likely representing different categories or metrics), and a sidebar with navigation options. The table contains various data points, possibly related to different companies or departments, with some cells highlighted in green.



一般社団法人 日本資材管理協会

URL : <http://www.jmma.gr.jp>

E-MAIL : info_jmma@jmma.gr.jp



購買の生産性を向上させるには。

組織の総合力を高めるには・・・
個人のスキルだけでなく
組織知財の共有化・見える化が 重要

購買力向上させる
ノウハウ・知財力

- Q
C
D
S
Ec
Ev
M
1. そのモノはどのような仕様、性能 **品質** か?
 2. どのようにして作られますか? **納期**
 3. いくらか、いくらであるべきか? **価格**
 4. どのような業界ですか? **市場分析**
 5. 魅力的な新製品開発に必要な情報は
 6. SCM, e-commerce を活用していますか?
 7. 為替, 輸入手続きは理解していますか?
 8. 商法, 下請法など遵守していますか?
 9. PCS の考え方 認識 活用, 開発購買
 10. VEの理解 活用, グリーン調達 **ISO14000**
 11. 調達先の経営状態、リスク対策、 **ISO26000**



「購買」は 情報を利益に変える !

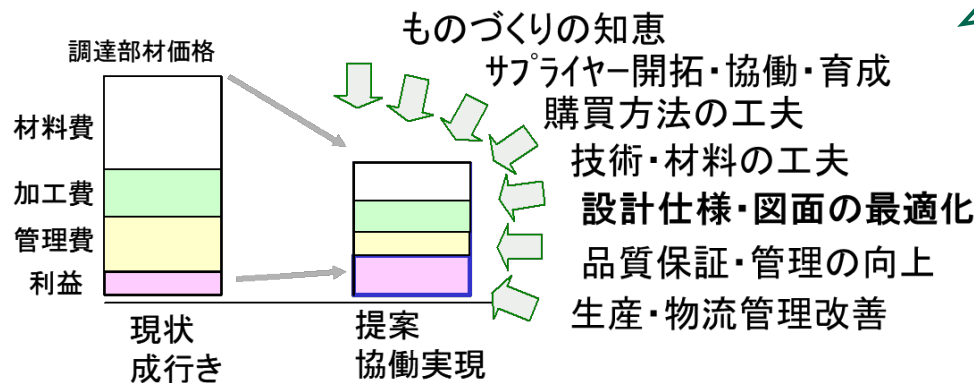
redefinition

品名	数量	単価	金額	納期	備考
部品A	100	1000	100000	2024/03/31	
部品B	200	500	100000	2024/04/15	
部品C	50	2000	100000	2024/05/01	

『サプライヤに ビジネス・チャンス を提供して、
必要なQCDESを達成・向上させること』

『サプライヤの優れた技術やものづくりの知恵を活用・協働して、
自社の利益とサプライヤの利益を両立させること』

サプライヤと
知の融合 !

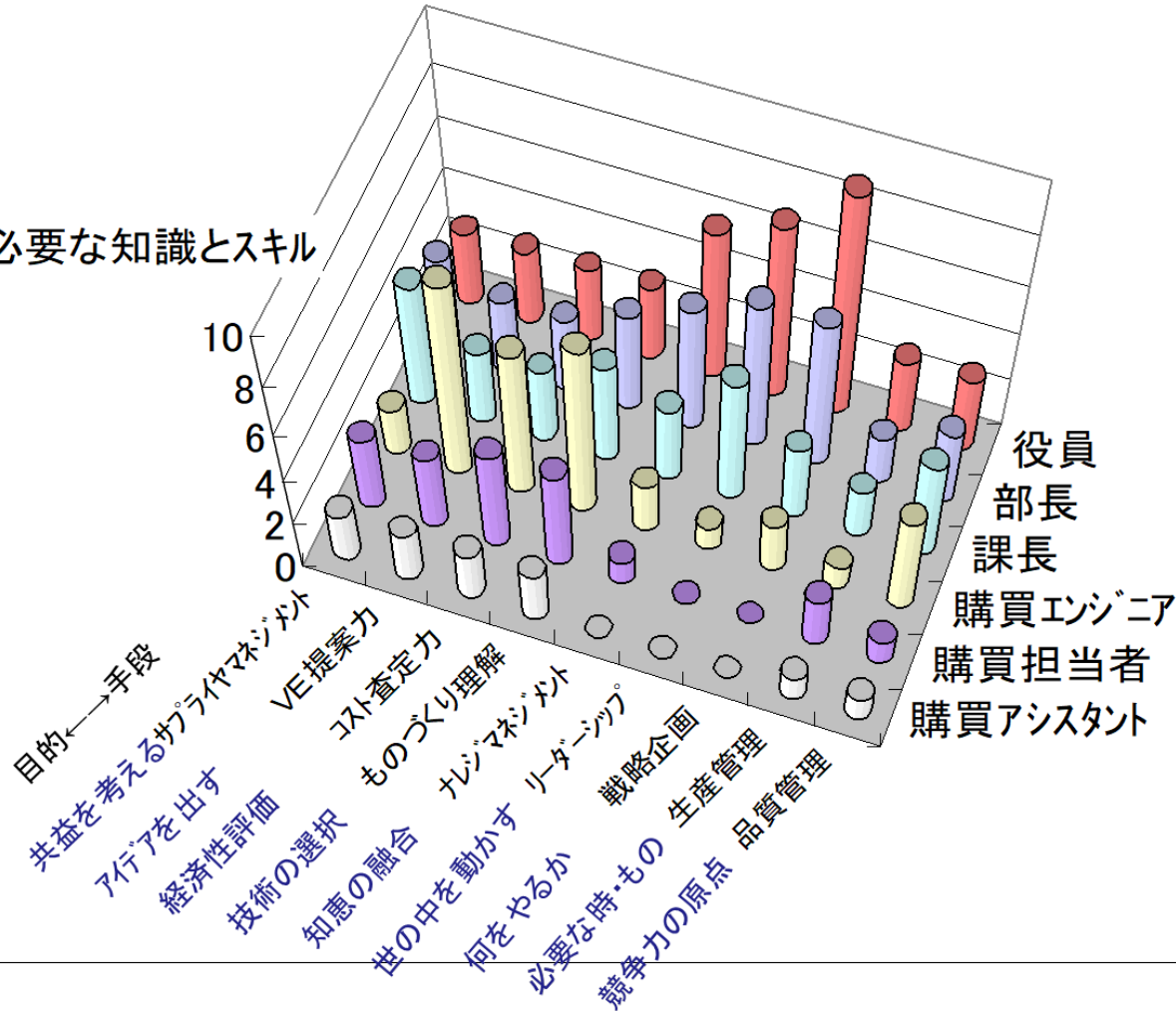




購買に求められる 知力・能力？

Essential abilities

必要な知識とスキル



役員
部長
課長
購買エンジニア
購買担当者
購買アシスタント



購買知財力 共有化・見える化 視点

capability

経営資源は ひと・もの・かね

購買資源は ひと・情報・サプライヤ

1. コスト査定力
2. 競合明確化力
3. VE提案力
4. 購買戦略力
5. サプライヤ評価力
6. 技術の目利き力
7. ナレッジマネジメント力

設定例で
変更容易です





どの視点を重視すべきか？ 配点

evaluation concept

何が重点かを提示し、
評価結果の特徴 強み・弱み
見える化も あると理解しやすい



	配点例A	配点例B
コスト査定力	15	10
競合明確化力	20	30
VE提案力	20	10
調達戦略力	20	20
サプライヤ評価力	5	10
技術の目利き力	10	10
ナレッジマネジメント力	10	10
Σ	100	100

評価結果の見える化 例



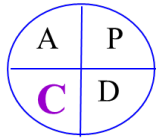
* 評価軸ごとの配点は簡単に変更されます。



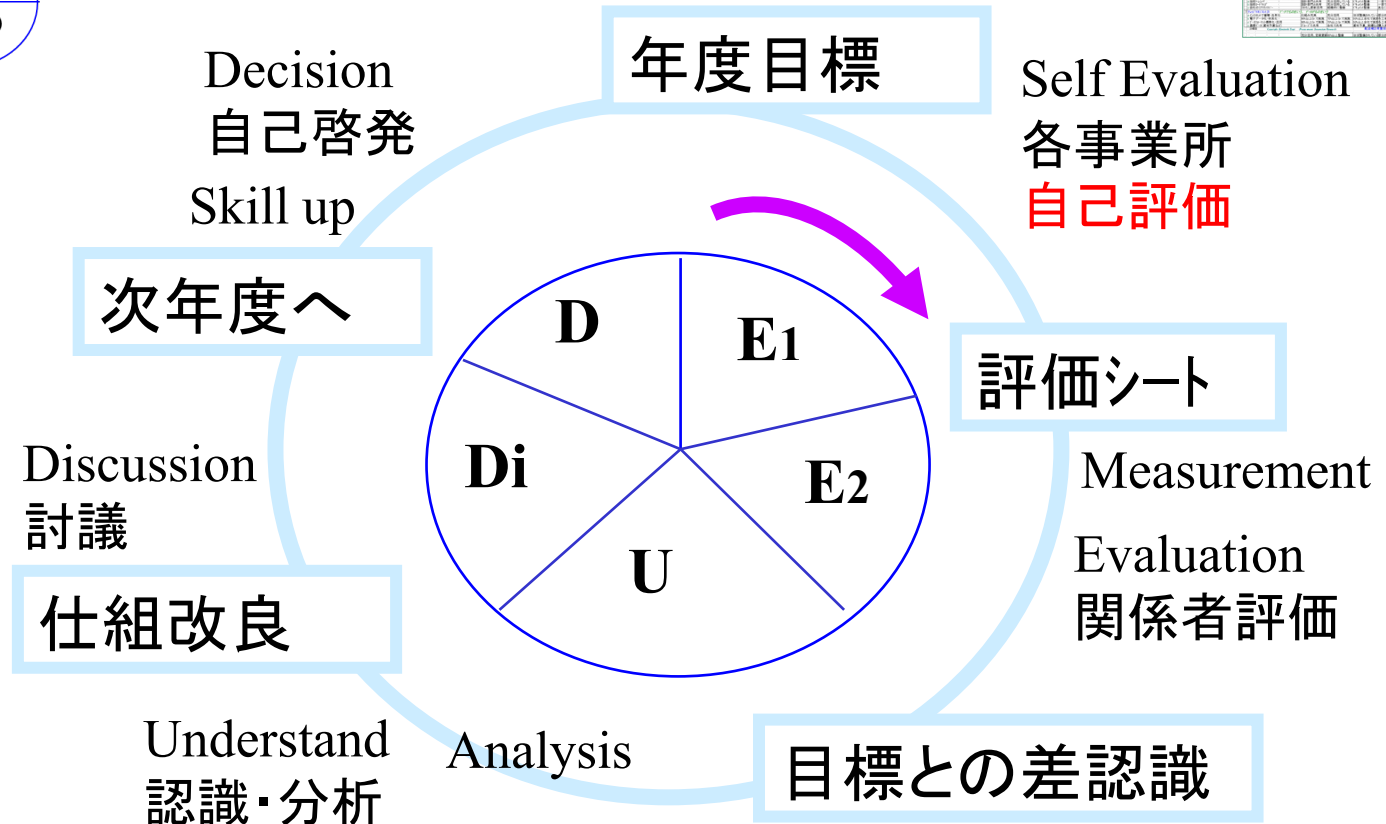
購買知財力 共有化・見える化 進め方

procedure

管理の基本 (W.E. Deming)



A small screenshot of a spreadsheet or data table, likely representing a self-evaluation sheet.



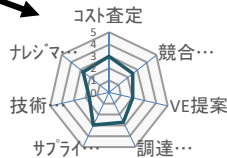


購買知財力 共有化・見える化評価の構成

architecture

事業所・ID

見える化
(強み弱み)



購買知財力 共有化・見える化 評価表

2022/1/13

V1.0 Solution Provider

注意事項
"項目評価"に5点満点で評価記入
フォーマットは変更しないで下さい。

評価点数 43

更に 戦略的に改善するには ↓

評価軸

評価項目

n	評価項目	5段階評価の判断基準					項目 評価	合計 評価	特 徴	配 点
		5	4	3	2	1				
1	コスト査定力 a 外注品の コストテーブル(積上げ方式) b 購入品の コストテーブル(回帰分析方式) c 値決めの根拠	コストの目利きが不可欠。購買エンジニアDB定期更新改良	コンピュータ化・活用	限定して利用	あるには あるが...	なし	3	9	0	
2	統合明確化力 a 購入品のBMS(互換比較動機付け) b 購入区分別取引先再編成計画 c サプライヤ・マップ	まず、競合から始まる。購買エンジニア設計部門とも共有	活用している	ほぼ整備されている	類似データあり	なし	2.5	8	0	
3	VE提案力 a VE/CDノウハウ集 b コスト原単位データ c 標準化・共通化	VEマインドと アイデア・ドクターとなるノウハウなくして開発購買なし	設計部門と共有	充分活用している	ドキュメント整備	部分的にある	2	6	15	
4	調達戦略力 a 購入区分別調達戦略 b 内外作政策 c 海外生産方針・計画 d 海外調達方針・計画	戦略明確でなければ 意思弱く、計画立たず	経営直結組織で実施	全社的な取り組み	ドキュメント整備	取引先別に作成	なし	4	11	15
5	サプライヤ評価力 a サプライヤ評価基準 b 工場品質審査基準 c 取引先DB	取引先とのパートナーシップ、評価基準の明示が必須	定期的・公開	定期的・公開	規程あり、活用	一部で実施	規程無し	3	9	14
6	技術の目利き力 a 技術トレンド b 技術ロードマップ c 会社のコアテクノロジー	技術の目利きと活用が購買力を左右する	設計部門と共有	充分活用している	ドキュメント整備	一部で実施	なし	2	5	2
7	ナレッジマネジメント力 a インtranetで蓄積・共有化 b 電子データ化・体系化 c データフォーマット標準化・活用 d 基礎データ(資材予算など)	データがものまいる。データがものまいる	設計部門と共有	充分活用している	ドキュメント整備	一部で実施	不明確	1	11	3
23項目						計= 43.3	合計点	48	100	

評価点

配点
(項目の重み)

合計点

判定基準(1~5)



購買知財力 評価シート 記入要領

購買知財力 共有化・見える化 評価表		2022/1/13	V1.0 Solution Provider							
部門名		評価点数	注意事項							
概要		43	"項目評価"に5点満点で評価記入 フォーマットは変更しないで下さい。							
改善提案 更によくするには			積極的に改善するにほ!							
5段階評価の判定基準										
n	評価項目	5	4	3	2	1	項目 評価	合計	特徴 点	配 点
1	コスト査定	コストの目利きが不可	購買マニ					9	3	20
a	外注品の コストテーブル(積上げ方)	活用	活用	限定して利用			3			
b	購入品の コストテーブル(回復)	活用	活用	主要品は整備			3			12
c	値決めの根拠			一部分で						
2	競争明確化力						2.5	8	3	20
a	購入品のBMS(互換比較)			ほぼ整備			3			
b	購入区分別取引先再編成計			ほぼ整備			2			10
c	サプライヤ・マップ	充実・定期的に改良	充分活用している	ほぼ整備						
3	VE提案力	VEマインドと アイデア・カ	となるノウハウなくして開発購買なし				2	6	2	15
a	VE/CD/ノウハウ集	設計部門と共有	充分活用している	ドキュメント整備			2			
b	コスト原単位データ	原価企画部門と共有	充分活用している	ほぼ整備されてい			2			
c	標準化・共通化	設計部門と共有	充分活用している	ほぼ整備されている部分			2			6
4	調達戦略力	戦略明確でなければ 意思弱く、計画立たず					4	11	3	15
a	購入区分別調達戦略	経営直結組織で実	全社的な取り組み	ドキュメント整備	取引先別に作成	なし	3			
b	内外作政策	製造部門と連携	充分活用している	ドキュメント整備	部分的にある	なし	2			
c	海外生産方針・計画	製造部門と連携	充分活用している	ドキュメント整備	部分的にある	なし	2			
d	海外調達方針・計画	生産部門と連携	充分活用している	ドキュメント整備	部分的にある	なし	2			8
5	サプライヤ評価力	取引先とのパートナーシップ、評価基準の明示が必須					3	3	14	
a	サプライヤ評価基準	定期的を実施・公開	定期的を実施	規程あり、活用	一部で実施	規程無し	3			
b	工場品質審査基準	定期的を実施・公開	定期的を実施	規程あり、活用	一部で実施	規程無し	3			
c	取引先DB	完備し進化	充実している	ほぼ整備されている	部分的にある	無し	3			0
6	技術の目利き力	技術の目利きと活用が購買力を左右する					2	5	2	8
a	技術トレンド	設計部門と共有	充分活用している	ドキュメント整備	一部で実施	なし	2			
b	技術ロードマップ	設計部門と共有	充分活用している	ドキュメント整備	一部で実施	なし	2			
c	会社のコアテクノロジー	DB化し更新活用	組織的	ドキュメント整備	あるには あるが...	不明確	1			3
7	ナレッジマネジメント力	データをものまをいう、データがものをいう					3	11	3	8
a	イントラネット外で蓄積・共有化	仕組み充実	充分活用	活用	活用	実施されてない	3			
b	電子データ化・体系化	90%以上Gr.で実施	70%以上			実施されてない	3			
c	データフォーマット標準化・活用	90%以上Gr.で実施	70%以上			実施されてない	3			
d	基礎データ(資材予算など)	グループで共有				不備	2			4
23項目	Copyright Kimitoshi Yagi : Procurement Innovation Research						合計点	48	2.5	100

事業所

レーダーチャート
にリンク

評価
点数記入

評価判定基準



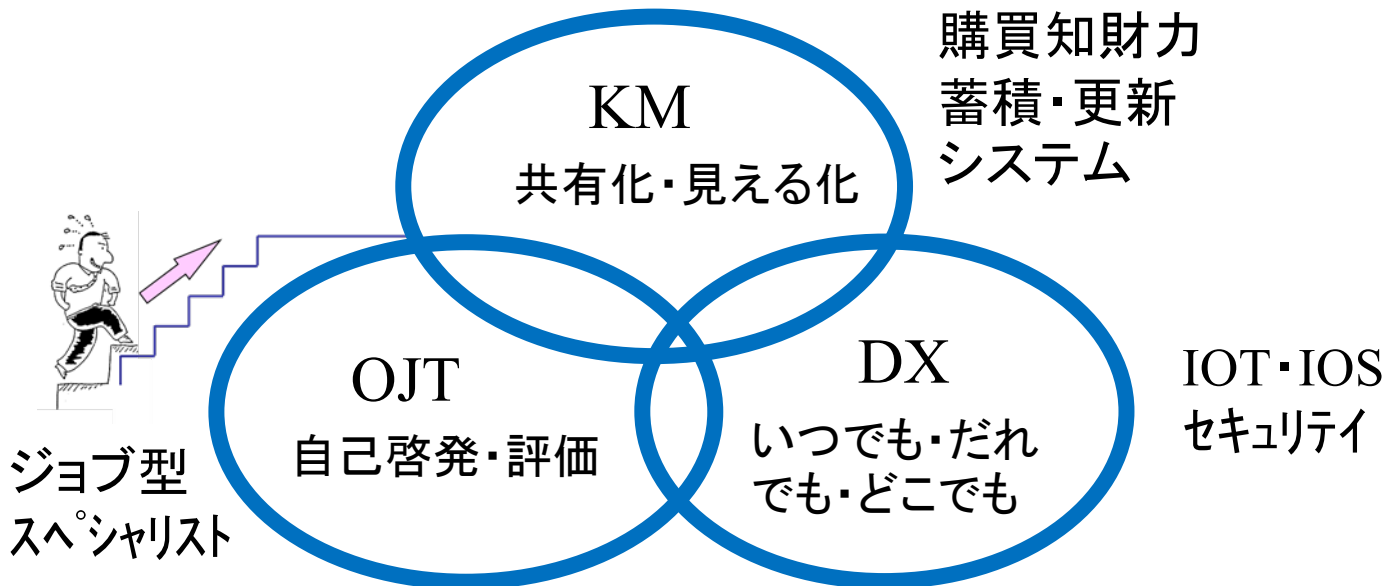
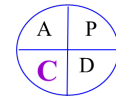
評価結果の討議・次年度へ

should be

情報を利益に変える
情報が無ければ 始まらない
共有化されなければ 活用進まない

MANAGERIAL BALANCE SHEET									
項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9
資産									
負債									
純資産									

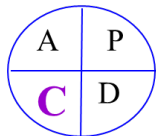
管理の基本 (W.E. Deming)





購買知財力 共有化・見える化評価 まとめ

管理の基本 (W.E. Deming)



会社の利益を確保・増大させるために
スペシャリストへの自己啓発・相乗効果も

1. 共有化・見える化のあるべき姿を目指して課題を明確にして、対策を立てる。
2. 評価は毎年・每期行う。システムとして活用・継続が大切立派な評価表を作ることではない、簡素が良い
3. 購買エンジニア評価も行い、自己評価・管理を期待する。
Next 5, Next 10 達成を目指す組織力の管理に活かす。